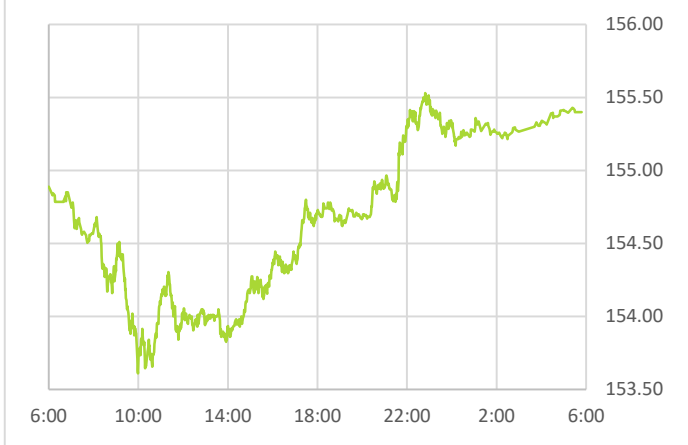


2024年5月17日(金曜日)

前日のトピックス

【米ドル/円チャート】

(出所: Refinitiv)



【ユーロ/円チャート】

(出所: Refinitiv)



【推移レンジ】

(出所: Refinitiv)

	オープン	安値	高値	クローズ
ドル/円	154.84	153.60	155.53	155.40
ユーロ/ドル	1.0883	1.0855	1.0895	1.0867
ユーロ/円	168.39	167.34	168.90	168.87

(*)オープン値は東京時間6時00分時点の気配値(週初は東京時間5時00分時点の気配値)

(*)クローズ値はNY時間17時(東京時間6時)時点の気配値

【相場回顧】

ドル円は一時153円台まで下落するも、ドル買戻しの動きが見られ、155円台半ばまで値を戻す展開

東京時間:

ドル円は154円85銭付近、ユーロ円は168円40銭付近でスタート。朝方に発表された日本GDP速報値は市場予想を下回る内容となるも、市場の影響は限定的。前日の弱い米経済指標を受けたドル売りの流れを引き継ぎ、東京時間に入ってもドル円は軟調に推移。仲値付近では実需のドル売りフローも影響して、ドル円は153円60銭の安値を付けた。

海外時間:

一欧州時間には、4月上旬以来の低水準を付けていた米10年債利回りが上昇に転じた事で、ドル買戻しの動きが見られ、ドル円は154円台後半まで上昇した。また、途中ECB高官らから、6月の利下げ開始に関する発言(次頁参照)が相次いだ。市場の反応は限定的なものであった。NY時間に入って発表された米経済指標は比較的弱い内容が続いたが、Fed高官からは早期の利下げに対して否定的な発言も見られたため、米10年債利回りは4.33%台から4.37%台まで上昇。ドル円についても、高値となる155円53銭まで上昇し、その後も155円台半ば付近で推移する展開となった。

主要相場動向

【株式市場】

		終値	前日比
日	日経平均	38,920.26	+ 534.53
米	NYダウ	39,869.38	▲ 38.62
	NASDAQ	16,698.32	▲ 44.07
独	DAX	18,738.81	▲ 130.55
英	FTSE100	8,438.65	▲ 7.15
中	上海総合指数	3,122.40	+ 2.50

【国債利回り】

		引け(%)	前日比
日	10年国債	0.920	▲ 0.030
米	10年国債	4.377	+ 0.033
	2年国債	4.795	+ 0.069
独	10年国債	2.444	+ 0.021
英	10年国債	4.082	+ 0.011

【通貨オプション】

	1M ATM 引け(%)	1M R/R	
		引け(%)	OVER
ドル/円	8.79	0.95	JPY CALL
ユーロ/円	8.02	1.05	EUR PUT

【インデックス等】

	引け	前日比
ドルインデックス	104.46	+ 0.12
人民元基準値(公表値)	7.1020	▲ 0.0029
VIX指数	12.42	▲ 0.03
CME Term SOFR 3mth	5.32574	▲ 0.00359

【商品市場】

	終値	前日比
金(COMEX)	2,385.50	▲ 9.40
原油(WTI)	79.23	+ 0.60

(出所: Refinitiv)

- 本資料は純粋に情報提供を目的とし、弊行が信頼に足り、正確であると判断した情報に基づき作成されていますが、弊行はその情報の正確性や完全性を保証するものではありません。記載された意見や予測等は、作成当時の筆者の一見解を示すのみであり、今後予告なしに変更されることがあります。
- 本資料は、いかなる取引の勧誘や推奨を行うものではありません。
- 記載された内容を投資等にご利用なさる際には、くれぐれもご自身の判断でなさるよう、お願い申し上げます。本資料の一部又は全部を問わず、弊行の許可なしに複製や再配布することを禁じます。本件に関するお問い合わせは、お取引の三井住友銀行の窓口までお願い致します。

2024年5月17日(金曜日)

行事・経済指標・発言等

【経済指標】

(出所: Refinitiv)

日付	国	内容	対象期間	結果	予想	前回	改定値
5/16	日 米 米 米 米	GDP年率 1次速報値(前期比)	Q1	▲2.0%	▲1.5%	0.4%	0.0%
		住宅着工件数	4月	136.0万件	142.0万件	132.1万件	128.7万件
		新規失業保険申請件数	5/11 週次	222千件	220千件	231千件	232千件
		フィラデルフィア連銀業況指数	5月	4.5	8.0	15.5	-
		鉱工業生産(前月比)	4月	0.0%	0.1%	0.4%	0.1%
5/17	中 中 中 欧 欧	固定資産投資(前年比)	4月	-	4.6%	4.5%	-
		鉱工業生産(前年比)	4月	-	5.5%	4.5%	-
		小売売上高(前年比)	4月	-	3.8%	3.1%	-
		EU基準消費者物価指数改定値(前月比)	4月	-	0.6%	0.8%	-
		EU基準消費者物価指数改定値(前年比)	4月	-	2.4%	2.4%	-

【コメント・発言等】

日付	国	発言者、イベント名	発言内容
5/16	米 欧 欧 欧 米 米	ウィリアムズ NY連銀総裁 デコス スペイン中銀総裁 カザークス ラトビア中銀総裁 センチノ ポルトガル中銀総裁 ビルロッドガロー フランス中銀総裁 バーキン リッチモンド連銀総裁 メスター クリーブランド連銀総裁	「インフレ鈍化は歓迎する一方で、まだ早期の利下げを唱えるには不十分」 「ECB、6月に利下げ開始の見通し」 「ECBは6月に利下げする可能性が高いが、6月以降は慎重に判断」 「ECBによる利下げ開始は確実」 「6月利下げの可能性はかなり高い」 「インフレ率はFRBが望む水準にまだ達していない」 「FRBは政策金利を現在の水準で維持する必要がある」

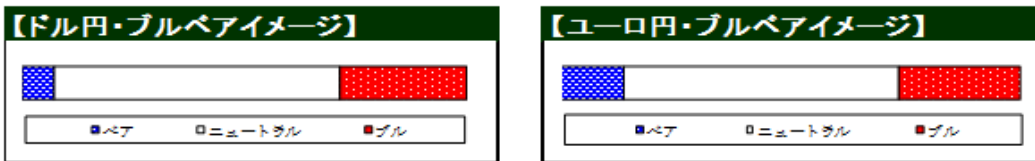
本日の相場予想

材料に欠ける中で、ドル円は膠着する展開を予想

前日のドル円は米CPIの内容を受けて、東京時間には一時153円台まで下落する局面も見られた。ただ、Fed高官としては、依然インフレ高止まりへの警戒感強く、早期の利下げは想定していないとのスタンスが改めて示され、結局ドル円は米CPI発表前の155円台半ばまで値を戻している。本日のドル円については大きく下落していく展開は想定しにくい一方で、米経済指標も芳しくない内容は続いている為、積極的に上値を追いかけていく展開も想定しづらい。材料に欠ける中で、ドル円は膠着する展開を予想。

<本日の予想レンジ>ドル円: 155円00銭~156円00銭、ユーロ円168円00銭~169円40銭 (担当: 白石)

ディーラーの予想分布



弊社ディーラー(15名程度)による本日の相場予想(※1)の分布(※2)です。

(※1)本レポート作成時点での、本日ニューヨーククローズにおけるレート水準の予想

(※2)ブル: 50銭超の上昇(円安)、ベア: 50銭超の下落(円高)、ニュートラル: 上下50銭以内

- 本資料は純粋に情報提供を目的とし、弊行が信頼に足り、正確であると判断した情報に基づき作成されていますが、弊行はその情報の正確性や完全性を保証するものではありません。記載された意見や予測等は、作成当時の筆者の一見解を示すのみであり、今後予告なしに変更されることがあります。
- 本資料は、いかなる取引の勧誘や推奨を行うものではありません。
- 記載された内容を投資等にご利用なさる際には、くれぐれもご自身の判断でなさるよう、お願い申し上げます。本資料の一部又は全部を問わず、弊行の許可なしに複製や再配布することを禁じます。本件に関するお問い合わせは、お取引の三井住友銀行の窓口までお願い致します。